

目 次

並立表現「AといわずBといわず」の文法的特徴と日本語教育における取り上げ方	安 祥 希	1
大学における複合課題を含むリスニング・スピーキングクラスの ロールプレイの有効性	大 重 範 子	15
「アラジンと魔法のランプ」とウォルト・ディズニーの『アラジン』 — 夢と帝国 —	小 泉 泉	41
トニー・ホーランドの詩における男性性の危機	パトリック ヘラー	57

【執筆者紹介】

安 祥希 (専任講師 現代日本語文法、日本語教育)

大重 範子 (専任講師 英語教育)

小泉 泉 (准教授 現代アメリカ文学)

パトリック ヘラー (准教授 英語教育・英語圏の文化)

2024年3月31日発行

フェリス女学院大学 文学部紀要 第59号

発行者 梅崎 透

編集者 フェリス女学院大学文学部紀要委員会

委員 谷 知子

諸橋 泰樹

発行所 フェリス女学院大学

〒245-8650 横浜市泉区緑園4-5-3

電話 045(812)8211

印刷所 株式会社東洋信号通信社

Contents

Grammatical Features of the Coordinating Expressions “A <i>toiwazu</i> B <i>toiwazu</i> ” and Take-Up in Japanese Language Education	AHN Sanghee	(1)
The efficacy of role-playing in listening and speaking class with multiple tasks combined at university.	OSHIGE Noriko	(15)
“Aladdin and the Magic Lamp” and Walt Disney’s <i>Aladdin</i> : A Dream and Empire	KOIZUMI Izumi	(41)
The Crisis of Masculinity in the Poetry of Tony Hoagland	Patrick, HELLER	(57)